

17 辺境の牛盗人嘆き節^{ぬすっと}

- ああ哀しや なつかしいあの頃
辺境で送ったあの暮らし
もっと哀しや いとしの女房
シャリマール村でひとり泣くおれの^{かかあ}嬢
- おれは長いジェゼイル銃を取り上げられ 5
自慢の盾もサーベルも没収され
中央刑務所にぶち込まれしまった
それもたかが牛泥棒の嫌疑で
- しばらくは 仔牛は小屋で鳴くがいい
ジャート族の奴らも 麦の世話をするがいい 10
略奪も焼き討ちもないだろうからな
おれが再び戻ってくるまでは
- 農民どもよ 神に命乞いをするんだな
ひと度おれの手かせが外れたあかつきには
牛小屋が襲われぬよう神に祈るんだな 15
おれが囚われの身から解き放たれたそのときには
- ああ哀しや おれのこの逞しい腰を屈めて
ごろごろと挽き臼を回すことになるうとは
ああ哀しや 向きを変えるたび足かせが
ガチャガチャと鳴る音を聞くことになるうとは 20
- だがおれが受けたこの悲しみこの恥辱は
おれの身内に押された悪名の烙印は
暴れ狂う炎と殺す牛の数で
きっちり落とし前をつけてやっからな
- むかし盗まずに 25

放してやった牝牛のかわりに
こんど再び^{りょうば}獵場に戻ったら
まっとうな取り分の三頭きっちり奪ってやっからな

まえは焼き討ちをやるたび
村を恐怖におとしいれてやった 30
こんどは^{ダンピラ}劍と首縄でおどし 松明もって火を放ち
村を一面火の海にしてやる

青二才の金髪^{ジョンプル}白人よ
アバザイ村へ馬をとばせ とばすんだ
ボネア村の太った牛たちよ 35
カータック族のように 群がれ 群がるんだ

^{ジョンプル}白人はたそがれどきに撃ち殺し
牛どもは夜明けに追い立ててやる
農民どもには死んだ家畜の蹄と皮革を見て嘆き
^{ジョンプル}白人には死んだきょうだいを見て悲しませてやる 40

しかけてやるう^{いくさ}戦を 燃えるような^{いくさ}戦を
おれの力が続くかぎり
男の中の男 このおれ様にくれた借り
ズッカケールの盗賊様にくれた借りをきっちり返してやるう

そして万一おれがお前らの手に落ちるなら 45
おれの罪とやらのため見せてやるうじゃねえか
おれがのどに腐った豚肉を詰め込まれ
豚の皮にくるまれて吊るされる^{ざま}様をな！

(榊井幹生訳)